

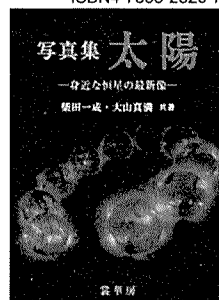
写真集 太陽 身近な恒星の最新像

最新刊

京都大学教授 滋賀大学講師
柴田一成・大山真満 共著 B5判上製/92頁/定価4725円

生命の“母なる”太陽は、人類にとって唯一身近な恒星だが、黒点周期の起源や100万度に達するコロナの加熱機構など、いまだ解かれていない謎は多く、その実像はあまり知られていない。本書は、地上の望遠鏡群や太陽観測衛星「ようこう」などによる最新の観測成果をふまえ、可視光（白色光）やH α 線など人間の目に見える光だけでなく、X線、電波、極紫外線など目には見えない光が明らかにする太陽の知られざる姿から、コンピュータが描き出す太陽像まで、多数の写真・画像をもとに、太陽の素顔に迫る（全73節）。

<目次> 白色光で見た太陽/H α 線で見た太陽/その他の可視光と赤外線で見た太陽/X線で見た太陽—「ようこう」衛星による観測—/電波で見た太陽/SOHO衛星とTRACE衛星が見た太陽/我が国の太陽衛星と地上太陽観測所



ポピュラー・サイエンス シリーズ

われらの有人宇宙船 日本独自の宇宙輸送システム「ふじ」

宇宙作家クラブ 松浦晋也 著 四六判/194頁/定価1680円

「自分が宇宙に行きたいと思うのなら、自分で自分の乗る宇宙船をつくるべきだ」

現在すでにある技術を使って、一般の人々でも宇宙へ行くことができることを目指したカプセル型宇宙船「ふじ」。その概略から、有人宇宙飛行の歴史をたどりつつ、スペースシャトルに代表される再利用型の有人宇宙船の問題点を検証し、日本の宇宙開発はどうあるべきかを考えます。

ISBN4-7853-8758-0



近刊 最新 宇宙学 研究者たちの夢と戦い

栗野諭美・福江 純 共編 四六判/予200頁

地上に建てられた望遠鏡群や宇宙に浮かぶ探査機・宇宙望遠鏡などの観測機器、そしてコンピュータによるシミュレーションなどの進歩によって、今まで想像もつかなかった宇宙の姿・現象が観測できるようになりました。第一線で活躍する研究者たちが、最新の宇宙の姿をご紹介します（全12章）。

<目次> 第I編 太陽系と宇宙人/第II編 星とブラックホール/第III編 宇宙と銀河

マルチメディア 宇宙スペクトル博物館

- <X線編> 見えない星空への招待
- <電波編> 宇宙が奏でるハーモニー
- <可視光編> 天空からの虹色の便り

栗野諭美・田島由起子・福江 純 ほか

CD-ROM+B5判ガイドブック（48頁） 定価4515円～4725円

光（電磁波）とスペクトルの基礎から、身のまわりの世界、光学機器のしくみ、光を使った実験や工作、そして様々な波長で眺めた天体・宇宙の姿を、多数の写真や動画を使って紹介するマルチメディアCD-ROM博物館（全3巻）ソフトはHTMLで記述され、ブラウザを使った一人学習や、プレゼンテーション資料にもご活用いただけます。



〒102-0081 東京都千代田区四番町8-1 Tel 03-3262-9166 Fax 03-3262-9130

詳しい目次などはホームページをご覧ください <http://www.shokabo.co.jp/>

裳華房

◆ 目録謹呈 ◆
価格は税込み